

経営比較分析表（令和6年度決算）

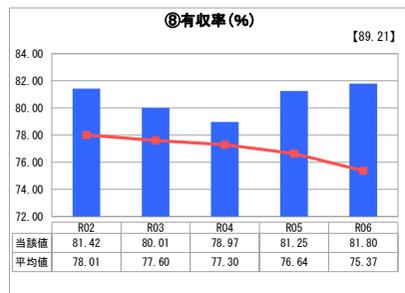
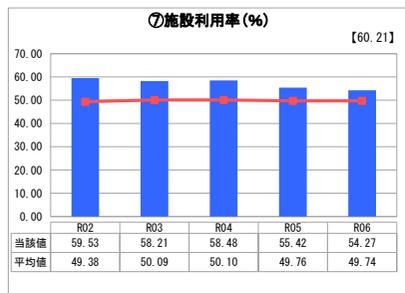
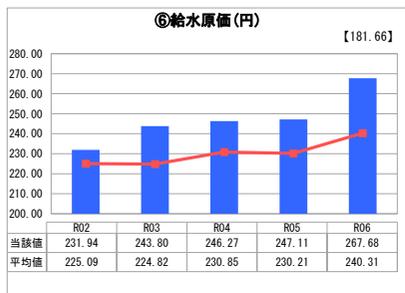
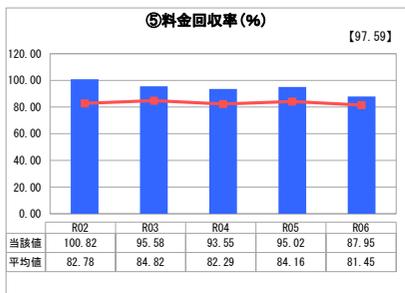
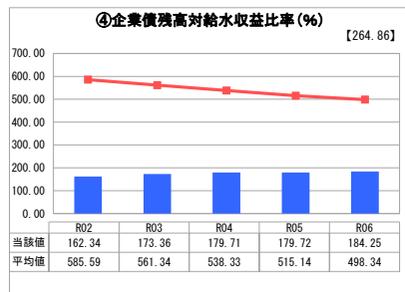
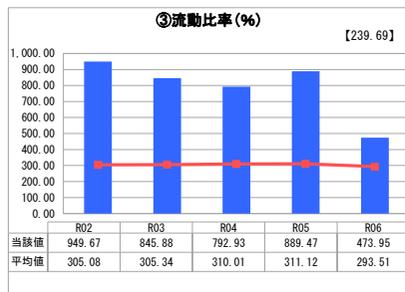
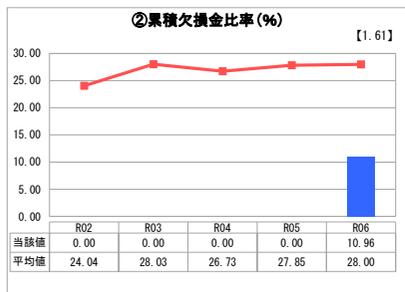
福島県 国見町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客単料金(円)	
-	83.00	98.73	4,603	

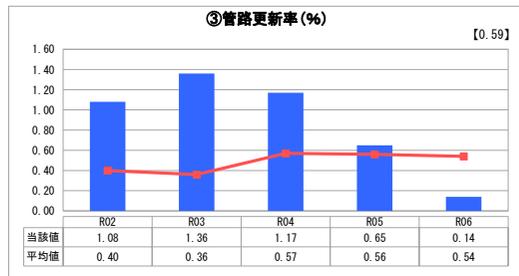
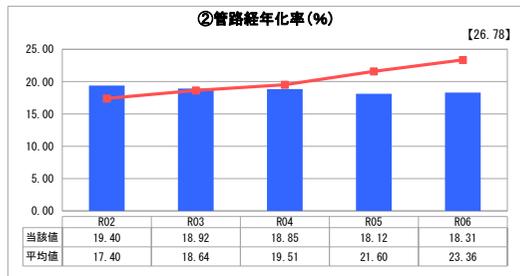
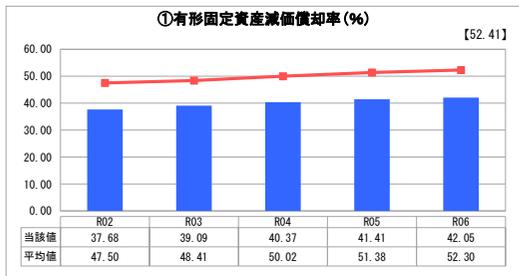
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,095	37.95	213.31
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
8,031	21.80	368.39

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「経常収支比率」は全国平均・類似団体平均より低く、「料金回収率」は全国平均より低いため単年度における経営は悪化している。

一方、「流動比率」や「企業債残高対給水収益比率」は全国平均・類似団体平均よりも大幅に良い数値となっているため、他団体よりも借金が少なく中長期的な経営指標は良好であるといえるが、「流動比率」については、R6年度に激減しており、今後の経営指標に注視する必要がある。

漏水量を把握する指標である「有収率」は年々良くなっているため、この数値を上昇させながら、経営状況を好転させる取り組みが必要である。

2. 老朽化の状況について

「有形固定資産減価償却率」、「管路経年化率」は年々増加しているものの、全国平均・類似団体平均よりも低い数値で施設老朽化の度合いは低いと推測される。

「管路更新率」はR6年度に激減しており、全国平均・類似団体平均より低いため、適切な施設の更新ができていない。

全体総括

今後は、「有収率」および「管路更新率」を高めながら、単年度経営の赤字が続く場合は、料金改定等の経営改善策を講じなければならない。